



—東地中海地域ニュース—

イスラエル：ネタニヤフ首相による入植地建設一部凍結発表 (11月25日付現地報道)

1. 11月25日午後8時、ネタニヤフ首相は、短いスピーチを行い、西岸における入植地建設を10ヵ月間凍結すると発表した。概要は以下の通り。

(1) ジュディア・サマリア地区（注：西岸地区を指す）内における入植地建設を10ヵ月間凍結する。

(2) 同地区の住民が通常の生活を維持できるよう、現在建設中の住宅地の他、シナゴーク（注：ユダヤ教会）、学校、幼稚園等の公共施設の建設は継続する。

(3) 首都エルサレムにおける建設は制限しない（注：東エルサレムは凍結の対象としない）。

2. このスピーチに先立ち、11月25日夕に開催された安全保障閣僚会議において、本件の凍結について協議され、賛成11、反対1で可決された。